甲斐たかゆきの市議会だより 11号　　2019年10月

えがお

発行・甲斐高之
連絡先・大分市下郡字長谷496-38　TEL097-556-7757　FAX097-556-9288
自　宅・大分市判田台南３丁目13-5　TEL･FAX097-597-6889

第３回定例会が開催されました（９月議会）

まず始めに、８月末に九州北部を襲った記録的な豪雨や各地に被害をもたらした台風など、自然災害により被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。千葉県での長期にわたる停電は、私たちの大分県でも起こる可能性があることです。早速、総務常任委員会の中で取り上げ、今回の原因を分析し、大分市の対策に活かしていくことを要望しました。

９月２日（月）から26日（木）まで、第3回定例会が開かれました。今回は、６日（金）に行った一般質問の内容を中心にご報告いたします。

少年自然の家のあり方について　子どもたちの体験活動がひろがるために！

小学生や中学生などを中心に、豊かな自然の中で「宿泊体験学習」ができる施設が「少年自然の家」と呼ばれているもので、大分市には「のつはる少年自然の家」があります。この施設も建設から25年ほど経過していることから、中学校の利用促進策（①）と施設の改修計画（②）などを質問しました。

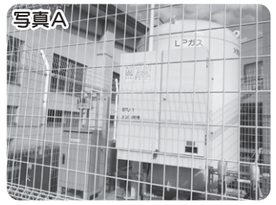
◎教育監答弁

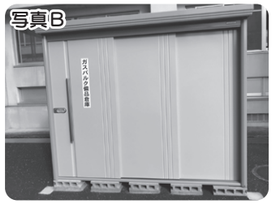
①グループでの協力の大切さを学ぶポイントラリーや災害救助用炊飯袋を用いた炊飯体験などのプログラムを新設。野外活動の一環としての飯ごう炊さんや避難所体験などの新たな活動について検討する。②施設の中規模改修を平成29年度から計画的に行い、給湯設備やトイレの洋式化、宿泊棟の外壁などの改修工事を実施。今後は、空調設備等の改修工事を行う予定。

〔甲斐の思い〕「うすき少年自然の家」が2012年度末で廃止となって以来、大分市内の中学生が宿泊体験学習できる施設が遠方にある県立施設などに限られてきている現状があります。またそれら施設も老朽化などの課題を抱えています。さらに佐伯市にあった「大分県マリンカルチャーセンター」が2018年４月より休止したことで、喫緊の課題となっているのです。そこで、「のつはる少年自然の家」の活用促進対策とともに、「海」での活動が行える新たな施設の建設を提案しました。建設費などの課題があることは承知していますが、大分市の豊かな自然を未来ある子どもたちに体験して欲しいとの思いで、「のつはる」の充実とともに、新たな施設のことも訴えていきます。

防災訓練や避難所のあり方について　地域の防災力を高めるために！

小・中学校の普通教室へのエアコン工事にともなって、地域の防災拠点となる13校（王子中・判田中・坂ノ市小・明野北小など）に「災害対応型バルクユニット」が設置されました。せっかく設置された設備や資機材が、いざという時に有効に活用されることが大切です。そのためには、地域の防災組織との合同訓練等を計画し、地域の方々が設備のことを知るのが重要だとの思いで質問しました（③）。また避難所となっている学校の体育館のトイレ洋式化（④）やエアコン設置や網戸の設置（⑤）などについても質問しました。





★画像の説明★

判田中学校に設置されたガスバルクユニット（写真Ａ）。タンクにはＬＰガスが貯蔵されていて、災害時にはタンク横の接続部と各種資機材（大型ガスコンロ、ガス炊飯器、ガス発電機、ＬＥＤ投光器などが倉庫に配備されます）とを接続することで、電源の確保や炊き出しができるとのことです。写真Ｂが各種資機材の倉庫です。

◎総務部長・教育監答弁

③総合防災訓練等の機会を通じて、自主防災組織と共同でのガスバルクユニットを活用した**炊き出し訓練等を実施する**。④車いす使用者が利用可能な多目的トイレをあわせて整備するなど計画的に改修を行う。⑤長寿命化改修工事に加えて、順次、**計画的に網戸の設置を進めていきます**。

〔甲斐の思い〕合同訓練を実施するという答弁を引き出せたことは成果でした。当面は、計画通りに資機材が搬入され、少しでも早く実現することを後押しします。トイレの洋式化については、避難所となる学校体育館が、幅広い年齢層の方々が使用するトイレとなることから、「すべて洋式化」を訴えました。現状の「和式便器を１基残す」方針に変更はありませんでしたが、今後のために市民ニーズ調査を要望しました。エアコン設置については、「現段階では設置が難しい」という見解でしたが、東京都や大阪府箕面市などの先行事例をあげて、引き続きの調査研究を強く要望しました。昨年から要望していた「網戸の設置」については、再度取り上げたことで、実現に向けて取り組むこととなり、継続した訴えの重要性を改めて感じました。今後とも避難所の生活環境向上に向けて訴えていきます。

補正予算・各委員会などの情報コーナー　安心・安全な生活を大切にします！

❶今回の補正予算の特徴的なものとして、大分市独自で先行実施する「市道交差点における防護柵等の設置」があげられます。私も６月議会で取り上げた大津市での交通事故を教訓にした子ども及び歩行者全般の安全対策の一環です。１億1000万円の予算で市内113カ所に車輌防護柵などの設置を予定しています。その他の補正予算や一般議案については、裏面の「絆」をご覧下さい。

〔甲斐の思い〕大分市の単独予算で早期に実施されることはうれしいことですが、通学路や園外活動の通行路は市道だけではありません。県道や国道においても早期に取り組まれること、これら安全対策には、国庫補助が積極的に導入されることを切望します。そうなれば基礎自治体（大分市）は、更なる安全対策に取り組むことができます。子どもたちの安心・安全は、地域の方々の笑顔につながっていきます。

あいさつ行動を(^o^)
「7」のつく日を中心に
判田校区３カ所で引き続き
実践中！
（9月末、市議となってからの通算100回目を突破）
意見交換会や市政報告などをご希望に応じて行っています。内容や形式も相談に応じます。
どうぞお気軽に声をかけて下さい！
相談事案も随時、受け付けています。
090-4991-6412
フェイスブックやホームページでも、日々の活動・情報を発信中です。どうぞお立ち寄りください。画像はホームページのトップ画面のものです。（内容を一部リニューアルしました）

❷「12誘導心電図伝送システム」10/1より運用開始･･･心筋梗塞については、発症後の早期診断と治療がきわめて重要です。今回の伝送システムが稼働することで、救急現場から受け入れ病院へこれまでよりも詳しい心電図のデータが伝送され、早期の容態把握が可能となります。発症から緊急治療の準備や実施までの時間短縮も期待できます。

❸「市民意見交換会」･･･本年度は、11/5（火）～10（日）の日程で、市内13カ所で開催されます。詳しくは、市報や市議会ホームページなどでご確認ください。私も連日、各会場（大南市民センター、坂ノ市市民センター、大在市民センター、大分東部公民館、コンパルホール、明治明野公民館）に参加します。どうぞご参加下さい。

● 編集後記 ●

画像は、9/8に開催した市政報告会の様子です。市政の現状や課題、特徴的な事業、私の考える地域振興策などを話しました。地域のみなさんの思いを直接感じるために、これからも開催します。声をお聞かせください。

市議会通信　　４７号　　２０１９年９月議会報告

絆　　発行所・大分市議会社会民主クラブ

きずな　　住　所・大分市荷揚町２番３１号

９月議会

９月議会

9月2日～26日の間、議会が開催されました。今回は、補正予算と2018年度決算について審議されました。

補正予算　**一般会計　３億２１００万円の補正予算**

下記の主な事業のための補正予算が承認されました。

◎市道交差点における防護柵等の設置・・・１億１０００万円

歩行者安全のため、市道交差点に防護策などを設置します。（１１３ケ所）

◎私立保育所等給付費の追加・・・５８００万円

０～２歳の保育を希望する子で第２子以降の子の保育料を全額減免します。

◎大分みなと祭り開催補助金・・・１２０万円

大在公共埠頭で行われる「みなと祭り」への補助です。

◎戸次本町地区景観整備事業・・・９２３万円

戸次本町の町並み景観のため建築物修理に係る補助です。

◎金池小学校施設整備事業（ＰＦＩ事業として）・・５８億２０００万円

小学校の校舎等の建て替えをＰＦＩ事業で行います。

（２０３８年度までの維持管理費も含めた債務負担行為としての予算です。）

現在の金池小学校

◎森林環境整備促進事業・・・１０４５万円

未整備の森林の調査などの経費です。

一般議案

◎会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

市職員として会計年度任用職員を採用するために、新たに条例を制定しました。

この条例によって採用された「会計年度任用職員」には、報酬の他に期末手当、通勤手当なども支給されます。１年を超えない期間の雇用ですが、４回まで再度任用できます。

これまでの嘱託職員などに比べ、待遇は改善すると考えられますが、新しい制度の導入ですので、今後課題など検証しなければなりません。

会計年度任用職員

行政に非常勤職員が増加する中、１会計年度（４月～翌３月）を超えない期間で雇用するもので、国から示された新しい制度です。これまでの非常勤職員と違い、期末手当や通勤手当が支給され、休暇も待遇が改善されますが、課題の検証が必要です。

◎市印鑑条例の一部改正

印鑑登録で旧性も記載できるようにします

◎市立幼稚園条例の一部改正

休園中の明野幼、城南が丘幼、寒田幼、こうざき幼と、２年連続園児が９人以下の津留幼と判田幼の計６園の廃園のための条例の改正です。

会派として・・６幼稚園の廃園について、住民への丁寧な説明と周知徹底や幼稚園に遠距離で行けなくなる子への対応、多年制保育や一時預かり事業の早期導入など問題点を指摘しました。

意見書　**〈採択された意見書〉**

◎大分自動車道及び東九州自動車道の濃霧対策に関する意見書

◎あおり運転を防止するための法整備を求める意見書

〈我が会派から提出したが、不採択になったもの〉

◎核兵器禁止条約への参加を求める意見書

◎消費税１０％への増税に反対する意見書

決算審査

前年度（２０１８年度）の決算の審査と１５の事業の事務事業評価を行いました。

一般会計の歳入総額は、1763億7875円で、歳出総額は、1718億8683万円で、差し引き形式収支は44億9192万円の黒字で、翌年度に繰り越すべき財源を引いた実質収支は38億6507万円の黒字となっています。

歳入の状況は、市税収入は786億1131万円で全収入の44.6%を占めます。手数料などを含めた自主財源は全収入の53.4%ですが、前年度より1.8%減少しています。

歳出では、生活扶助費など民生費が752億円で歳出の43.8%を占めています。借金の返済である公債費は187億円で10.9%、土木費は182億円（10.6%）教育費は137億円（8.0%）となっています。

財政の健全性を表す財政指標を見ると、財政力指数は0.903で、1.0に近く健全と言えます。また主要基金（貯金）の残高は202億6274万円で前年度より3億6700万円増加し、市債残高（借金）は1716億7000万円で、前年度より21億9000万円ほど減少しています。さらに市税収納率は99.3%で、前年度より0.1%向上し、財政健全化の努力も伺えます。 公債費比率（借金返済金の割合・15%以下が良好）は9.4%で良好ですが、義務的経費の割合である経常収支比率が93.6%であり、硬直化が進んでおり、今後注視していかなければなりません。

※**財政力指数…**自治体を運営するのに必要な経費（基準財政需要額）に対して、税収など自前の財源（基準財政収入額）がどの位あるかを表す。 1.0が経費と財源が同じ。

事務事業評価結果	
高齢者運転免許自主返納促進	継続
武漢事務所業務委託	継続
スポーツオブハート開催	廃止
就労ピアサポートサロン	継続
地域多世代ふれあい交流	継続
子どもの学習支援	拡充
外国語指導助手招聘	拡充
学校図書館活性化	継続
まちかど歴史再発見	終期設定し終了
大分いこいの道協議会交付金	拡充
災害対策ポンプ借上料	拡充
住宅等ストック対策推進	継続
水素エネルギー導入推進	継続
知的・精神障がい者雇用促進	継続
森林セラピー魅力創出	拡充